



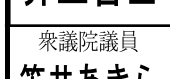
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士
衆議院議員
笠井あきら
禁無断転載
複写配布

被爆75年「平和の波」・国際共同行動

小矢部市でも多彩に

原水爆禁止世界大会実行委員会が呼びかけた被爆75年「平和の波」行動は、核兵器廃絶のために、ヒバクシャ国際署名を集めることを共通の行動とし、地球の自転に合わせて世界中でとりくまれる、草の根の国際共同行動です。

小矢部市では、これに呼応しておやべ平和委員会主催で市役所ロビーにおいて7月31日から原爆写真展が開催されました。8月3日には石動駅北口交差点でスタンディング・アピール、広島に原爆が投下された8月6日には石動駅自由通路付近でスタンディング・アピールとヒバクシャ国際署名、8月8日には石動コミュニティセンターで映画「原爆の子」上映会など、多彩な行動が組み込まれました。

市役所ロビーで原爆写真展

おやべ平和委員会は毎年、津沢コミュニティセンター、総合会館、アートハウスおやべなどで順番に原爆写真展を開いてきました。

被爆75年目の今年は市役所1階ロビーを会場に8月1日まで開きます。



市役所ロビーで原爆写真を見る市民=7月31日

「核兵器禁止条約」日本こそ参加を

8月3日のスタンディング・アピール

憲法をまもる小矢部の会が毎週月曜日朝に行っているスタンディング・アピールは8月3日、石動駅北口交差点で行いました。「平和の波」行動の一環として「核兵器禁止条約に被爆国日本こそ参加を」のプラスタも掲げられました。通行人から「私も賛成です。署名したいです」の声がかけられました。

石動駅北口交差点で



スタンディング・アピールする憲法をまもる小矢部の会の皆さん

原水爆禁止2020世界大会

国際会議にオンラインで参加

世界的なコロナ禍のもとで今年の原水爆禁止世界大会はオンラインでの開催となりました。8月2日には国際会議が開かれ、植生在住の堀内昭世宅でオンライン参加しました。6日のヒロシマデー、9日の長崎デーの集集も堀内昭世宅で参加します。



堀内昭世氏から参加しての感想を寄せてもらいました。

核開発の資金をコロナや災害救済へ

参加者たちはそれぞれの思いを表現したプラスタを掲げてアピールしています。コロナ感染者が全国的に増え続けているもとで、「自粛には補償と一体で」とのプラスタを見て頷く人もありました。今回初めて手書きの「性暴力にNOを 刑法改正へ!」というプラスタも掲げられました。



2020年8月5日 (水曜日)

【社会・総合】

(14)

子どものインフル予防接種 待ったなし 市の補助金を増やし 接種率アップを

しんぶん赤旗8月5日付14面に、日本感染症学会が新型コロナとインフルの同時流行の備え必要との指針を提言したことを報道しました。
子どもは特にインフルエンザが流行しやすいため、インフルエンザ予防接種を強く推奨しています。小矢部市としてもこの予防接種の補助を増やして、接種率を上げる努力が、今ほど強く求められるときはありません。

同時流行の備え必要

秋・冬 日本感染症学会が指針

新型コロナとインフル

秋から冬にかけて新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時に流行する恐れがあることから日本感染症学会は3日、地域の医療機関に向けた診断や治療についての指針をまとめ、提言しました。

原則として新型コロナの流行が見られる場合は、インフルエンザ

が強く疑われる場合を除いて、できるだけ両方の検査を行うことを推奨。インフルエンザのワクチンについて、医療関係者、高齢者、ハイリスクの患者も含め、強く接種を勧めるとしています。

今回、新型コロナの流行を地域での発生状況などから4段階に分類。同検査について「原則不要」から「発熱がある場合は全例行うことが望ましい」まで、流行レベルや移動歴、濃厚接触歴に応じた目安を示しました。ただ新型コロナ検査の供給は限られているため、状況によって、先にインフルエンザの検査を行い、陽性であればその治療を行い、経過をみることも考えられるとしています。

原則として新型コロナの流行が見られる場合は、インフルエンザは困難と指摘していま

原則として新型コロナの流行が見られる場合は、インフルエンザは困難と指摘していま

小児（とくに乳幼児

小児（とくに乳幼児）についても指針をまとめました。子どもはとくにインフルエンザが流行しやすいとして、同ワクチンの接種を強く推奨。発熱や呼吸器症状のほか、接触歴があるなど新型コロナを除外できない場合、なるべく同時に検体をとって診断を行うことが大切だとしました。

指針は同学会のホームページで公開。状況が流動的なため、新たな知見が出てくれば改定するとしています。

指針は同学会のホームページで公開。状況が流動的なため、新たな知見が出てくれば改定するとしています。